

交流塾着物講座着付コース 事前に準備しておく物と事

ご質問は着付け講師福山紫乃
Shinokimono@gmail.comまで
ご遠慮なくどうぞ！

<持ち物 着物用> (カッコ内)のもので代用可
肌じゅばん(タンクトップ)・裾よけ(ペチコート、ステテコ)・足袋・補正具(さらし5メートル)・じゅばん・衿芯・伊達締め2本・紐2本・コーリンベルト1本(小さめの着物クリップ)・着物(着物クリップは当日販売あり)

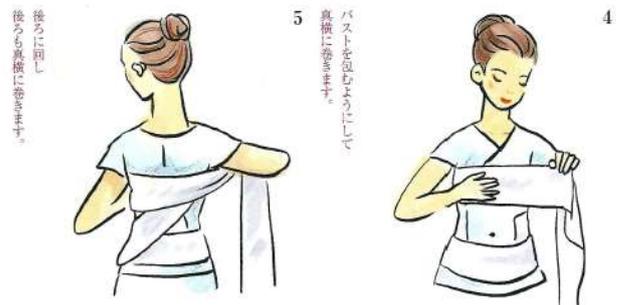
<名古屋帯の場合>

帯板・帯枕・帯揚げ・帯締め・着物クリップ2つ(洗濯ばさみ不可)・仮紐1本・ヘアゴム10cm

<袋帯の場合:帯の応用の日に希望者に実施>

名古屋帯の準備に加えて、仮紐もう1本。

5メートルのさらしで補正 和装ブラ腰パッド不要



市販の補正具 必ずヒップのある物を



Youtubeに半衿の付け方がたくさん出ています。参考にしてください。



半衿のつけ方 ここまで丁寧にはせず、かぶせてザクザク縫うだけでも間に合います



ポイント柄



全通柄

じゅばんはたんす屋の半襦袢(4800円)が衿が決まりやすく、手入れも簡単でおすすめです。若いころ作った長じゅばんはもう身幅が合わない可能性大です。あきらめましょう。

着物、じゅばん、帯の素材 ポリエステルは安価ですがすべりやすく、初心者には不向きです。

ブラジャー

バストの大きい方は和装ブラを着けるかさらしで胸を巻きましょう。それほどでもない方はスポーツブラかノーブラで。(カップ付きブラは厳禁です)さらしは肌触りがいいですが、和装ブラが早くて簡単です。

ウエストパッド

腰がくびれている方は市販の補正具を巻きます。装道の美容補正パッドがお勧めです。ネットで3600円程度。もっと安いものもありますが、ヒップの所に厚みがある物を必ず選んでください。タオルとひもで代用もできますが、ずれやすいです。

じゅばんに半襟をつけ襟芯を用意する

特に絹の長じゅばんは、半襟だけ外して洗い、数回繰り返して着るようにします。
市販の長じゅばん、半じゅばんにはたいてい半襟がミシンできれいに縫い付けられています。
この上からもう一枚、化繊か綿の半襟をかけておくと、手入れが楽になり便利です。
半襟をかけた内側には、襟芯を通してから着用します。襟芯を忘れずに用意しましょう。

帯は長さ360cm以上の名古屋帯

お太鼓の所だけに柄が来るポイント柄の帯ではなく、柄が長めに入っている帯で軽い帯が練習しやすいです。短かすぎる昔の帯には要注意！
帯板はベルト付きのものが帯唄に合わせて締めやすいですが、ベルト無しのもので可です。